

西之表市議会だより



▲国道沿いから覗くコスモス畑

目次

- P2 ……主な議案等
- P3 ……新型コロナ対策
- P4 ……委員会審査報告
- P6 ……商工会との意見交換会
- P7 ……一般質問
- P1 1 ……議決結果一覧
- P1 2 ……次回定例会予定

会期日程

令和2年第3回定例会(9月4日～9月29日)

9月4日	定例会開会	9月8日	総務文教委員会
9月9・10日	予算特別委員会	9月11日	産業厚生委員会
9月14・15・16日	決算特別委員会	9月23日	各特別委員会
9月25日	本会議(議案審議)	9月28・29日	一般質問
9月29日	定例会閉会		

令和2年第2回臨時会(10月28日)

10月28日 本会議(議案審議)

令和2年第3回定例会

9月4日から9月29日までの日程で、令和2年第3回定例会が開催された。

定例会において、条例改正や予算案、委員会より提出された意見書案等全13議案について慎重に審査し、全議案原案のとおり可決となった。

請願・陳情については、「西之表市ウミガメの繁殖促進及び生息環境保全等に関する条例制定を求める請願書」が提出され、9月11日に行なった産業厚生委員会において、継続審査となった。

他には、令和元年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告について、農林水産課長より報告が行われた。

また、前年度歳入歳出決算審査については、7件すべて認定となった。（詳細は、P4に掲載）

請願書

○西之表市ウミガメの繁殖促進及び生息環境保全等に関する条例制定を求める請願書

【趣旨】

鹿児島県は、ウミガメの生息繁殖地として、その保護条例を制定し、県、市町村及び県民などが一体となり、その保護を図り、将来の県民にこれを共有の資産として継承していこうとしている。そして、県内においても種子島は、日本で2番目に多いアカウミガメの産卵地として貴

意見書提出

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国においても、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応は、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまで

重なる存在であり、この環境を意識的に保存し、守っていくために自治体の取り組みと地元の人々による保護活動が求められている。条例を制定し、保護活動を推進していくよう求めるもの。

【結果】

委員会審査において、紹介議員より詳細説明を受け、請願者、種子島漁業協同組合長を参考人として招致し、請願の理由・経緯等を踏まえ、慎重に審査した結果、さらなる調査、情報収集が必要とし、閉会中の継続審査と決した。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し
地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応は、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月25日

鹿児島県西之表市議会



でない厳しい状況に陥ることが予想される。よって、国に対して、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、強く要望するもの。なお、提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣とするもの。

決算認定7件 すべて認定 報告1件

追加議案

○西之表市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

西之表市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定に伴い、条例の一部を改正しようとするもの。

次回の選挙より、議員定数が現在の16人から14人となることに伴い、総務文教委員会及び産業厚生委員会の委員定数を「8人」から「7人」に改め、議会運営委員会の委員定数を「7人」から「6人」に改めるもの。また、資格審査特別委員会及び懲罰特別委員の定数についても「7人」から「6人」に改める。

附則として、この条例は、西之表市議会議員定数条例の一部を改正する条例の施行の日から施行する。

○西之表市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

本会議場映像音響設備整備の改修に伴い、マイク設備内臓の投票システムの運用が可能となったため、規則の一部を改正しようとするもの。

これまで、起立採決をしていた

もの、また、議長の簡易表決の宣告に対して、出席議員3人以上から異議があるとき、議長は起立の方法で表決を採らなければならなかったことについて、議長が必要があると認めるときは、電子表決システムで表決を採ることができ



▲電子表決システムモニター映像表示例

令和2年第2回

臨時会

10月28日に令和2年第2回臨時会が開催された。

今回の臨時会は、台風14号の影響により被害を受けた各地港湾等の早急な復旧・整備に係る経費を補正するもの、議案1件が上程され、可決となった。

主な新型コロナウイルス感染症対策（9月補正分）

「行政情報のIT化による接触機会低減促進事業」 426万円（システム導入・保守ほか）

行政手続きや問い合わせ等を、極力オンラインで行い、窓口や受付会場等への訪問者を減らし、市民等の接触機会の低減・密集状況の解消につなげる。

「ウイズコロナで元気度アップポイント事業」 501万6千円（元気度アップポイント交換金）

高齢者等の健康維持や生きがいづくり等の社会参加活動に対して、商品券に交換できるポイントを付与し、「新しい生活様式」の理解と定着を図るとともに、高齢者の社会参加、地域経済の活性化を図る。

「子育て世帯支援給付金支給事業」 2,486万円（子育て世帯支援給付金）

子育て世帯に対する経済的負担を少しでも軽減させるために給付金を支給する。

※令和2年10月1日（基準日）に住居基本台帳に登録されている平成14年4月2日以降に生まれたもの（対象年齢18歳以下の子ども）一人につき1万円を対象者の保護者（受給者）に給付。

「新生児臨時特別定額給付金支給事業」 891万円（新生児臨時特別定額給付金）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う家計支援として給付された特別定額給付金の基準日（令和2年4月28日）後に生まれ、対象とならなかった新生児に対する臨時給付金。

「新型コロナ対策地域活性化プレミアム付商品券発行事業」 6,295万円（商品券発行ほか）

地域経済回復の一助として、市内店舗等で利用可能なプレミアム付商品券を発行。（12月1日開始）

※プレミアム率50%（5,000円で、7,500円分を販売）、24,000セット販売。

「新しい生活様式で商店街で買い物しよう意識啓発事業」 1,032万円（旧榕城分団跡地整地ほか）

市内商店街で買い物をした市民に対して、新しい生活様式を記入したエコバックをプレゼントするとともに、感染リスク軽減のため、商店街店舗に消毒液、マスク等を配布する。また、旧榕城分団跡地を整地し、商店街での情報取得のため、フリーWi-Fiを整備し、市民の憩いの場とする。

委員会審査報告

決算特別委員会

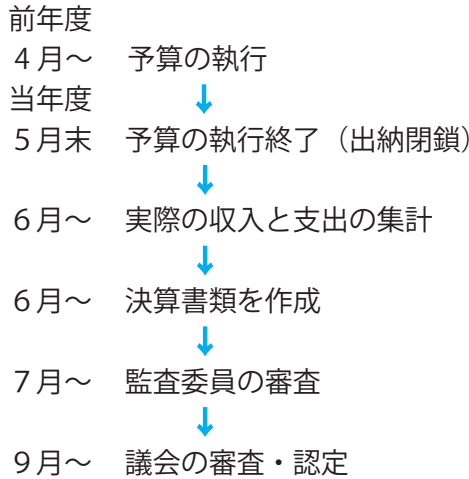
【決算特別委員会】

委員長 田添 辰郎
副委員長 鮫島 市憲
委員 下川 和博
小倉 初男
橋口 好文
橋口 美幸
和田 香穂里

9月14日から16日の日程で、令和元年度歳入歳出決算審査（令和2年審査）が行われ、委員会に付託された7件すべて認定となった。

決算審査とは…市長および公営企業管理者から提出された一般会計、特別会計および公営企業会計の決算書等の計数が正確であるか、あるいは、予算の執行または、各事業の経営等が適正かつ効果的に行われているかなどを審査するものです。

決算審査までの流れ



○令和元年度西之表市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入は、106億4,706万6,384円（対前年度比3.3%減）、歳出は、105億3,674万5,107円（対前年度比1.5%減）であった。

その主な要因は、歳入については、防災行政無線（デジタル化）設置事業において借り入れた地方債の減、歳出については、防災行政無線（デジタル化）設置事業及び北部観光整備事業等の投資的経費の減少によるもの。

実質収支は1億308万6,277円と平成19年度より13年連続の黒字となった。

令和元年度財務状況については、財政力指数は、0.27%と前年度と同じ値であった。経常収支比率は、92.0%（対前年度比1.5ポイント減）となっているが、依然として財政の硬直化が見られている。

歳入について、調定に対する収入率は98.0%（対前年度比0.2ポイントの減）、不納欠損額519万1,642円、収入未済額は2億4,053万4,141円である。

収入未済額の主なものは、市税4,583万5,151円、使用料及び手数料の住宅使用料785万9,474円、国庫支出金の国庫補助金1億6,191万4,000円及び、諸収入の奨学資金貸付金収入1,307万4,075円となっている。

収納率については、現年度課税分99.1%（対前年度比0.2ポイント増）、滞納繰越分23.0

%（対前年度比3.9ポイント増）、市税合計96.5%（対前年度比1ポイント増）であり、県内43市町村中9位、19市中5位とこれまでの取り組みの成果が見受けられた。

一般会計における当年度末公債費残高は、前年度より3.9%減少し、101億7,348万282円となった。実質公債比率は9.8%と対前年度比で、0.4ポイント増加となった。

今後、少子高齢化により社会保障経費の増大が見込まれるほか、広域で行った一般廃棄物処理建設に伴う償還費（負担金）や汚泥再生処理センター及び新種子島産婦人科医院の建設や防災関連施設の改修・新設に伴う公債費、また、老朽化した公共施設の維持補修等、長寿命化に係る経費の増加が見込まれることから、新行財政改革大綱のもと定員管理や事務事業の見直しなど経常経費の圧縮に努め、健全財政への取り組みを望むものである。

【委員からの意見】

決して良好とは言えない経済状況の中において、近年稀にみる収納率の上昇が見られ、公平な税負担に向けた法的手続きについて、納税者である市民の理解が進んでいることが大きな要因である。また、税務課長をはじめ、担当職員の献身的な努力の賜物と高く評価する。

一方で、職員採用事務について、以前から、保健師・技術職員の採用が困難を極めており、島内外から幅広く人材を求めよう、SNS等の新しいメディアを活用し、周知の充実を図ることを要望する声があった。

※その他の決算認定については、採決結果のみP11に掲載しています。

予算特別委員会

※議長を除く全14名で構成
 委員長 小倉 初男
 副委員長 河本 幸男

予算

○令和2年度西之表市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億4,296万円を追加し、歳入歳出予算の総額を129億569万1千円とするもの。

歳入(主な補正予算)

■市税 (△2,212万8千円)

たばこの売渡し本数の減少により、1,758万3千円減額するもの。

■国庫支出金

(4億6,863万4千円)

教育費国庫補助金として、小中学生に対し、1人1台の教育用情報端末を導入するため3,677万4千円を増額するもの。

また、商工費国庫補助金としてウエルネスツーリズム推進事業に対し2,000万円計上。

総務費国庫補助金では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など3億8,769万9千円増額するもの。

■繰越金 (7,308万6千円)
 前年度の繰越金確定したことにより、7,308万6千円追加するもの。

歳出(主な補正予算)

■民生費 (8,246万3千円)

ウイズコロナで元気度アップポイント事業に対応した委託料として501万6千円を追加するもの。
 子育て世帯に対する経済的負担を軽減させるため扶助費として3,377万円を追加するもの。

■商工費 (1億2,494万2千円)

新型コロナウイルス対策地域活性化プレミアム付商品券発行事業として6,295万円を追加するもの。
 ■教育費 (2億5,323万円)
 新型コロナウイルス感染症対策に伴う給食センター空調設備設置に伴う費用として7,536万9千円を追加するもの。

○令和2年度西之表市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7,211万1千円を追加し、総額129億7,780万2千円とするもので、台風10号の襲来による災害復旧等に関連する予算。

※その他の予算については、採決結果のみP11に掲載しています。

各常任委員会

【総務文教委員会】

委員長 河本 幸男
 副委員長 和田 香穂里
 委員 下川 和博
 永田 章
 木原 幸四
 川村 孝則
 田添 辰郎
 渡辺 道大

条例

○西之表市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律」の一部施行に伴い、個人番号通知カードが廃止されたため、条例中の通知カードの再交付に係る規定を削除するもの。

○西之表市都市計画事業基金条例の制定について

都市計画事業の円滑な推進を図るための目的税である都市計画税は、これまで事業の起債の償還に充当してきた。しかし、平成30年度頃から償還額が減少

し、令和3年には償還が終了し、充当先がなくなるため、これまでの財政調整基金積立分を含めて、用途を限定した基金に積み、適正に管理・運営するために基金条例を制定しようとするもの。

【産業厚生委員会】

委員長 生田 直弘
 副委員長 竹下 秀樹
 委員 小倉 初男
 鮫島 市憲
 橋口 好文
 長野 広美
 橋口 美幸

請願

○西之表市ウミガメの繁殖促進及び生息環境保全等に関する条例制定を求める請願書

10名の請願者より、渡辺道大議員、和田香穂里議員を紹介議員として「西之表市ウミガメの繁殖促進及び生息環境保全等に関する条例制定を求める請願書」が提出された。

委員会審査において、紹介議員、請願者、種子島漁業協同組合長を招致し、慎重に審査した結果、さらなる調査、情報収集が必要とし、閉会中の継続審査と決した。

(詳細はP2に掲載)

西之表市商工会役員と

産業厚生委員会との意見交換会

産業厚生委員長 生田直弘

8月27日に、産業厚生委員会委員と西之表市商工会役員との意見交換会が行われた。

意見交換会において、主に、新型コロナウイルス感染症対策について意見交換が行われた。

西之表市商工会については、本市の中心的経済団体として商工業の振興に積極的に取り組まれており、本市施策の推進にあたっての重要なパートナーとして位置づけられるものと本委員会としても認識している。

また、市行政当局としても、多業種で構成される会員事業者は地域の経済・雇用・コミュニティを守る役割を果た



▲8月27日開催の商工会役員と産業厚生委員会との意見交換会

している重要な地域の担い手だと認識されていると存じる。

しかし、会員の多くは、中小企業及び小規模事業者であり、これまでも商圏人口の減少等、本市が持つ構造的要因により、その経営を取り巻く環境は年々厳しさを増している状況下にあつたことは御承知のとおりである。

そういう状況下において、今回の新型コロナウイルス感染症による経済縮小が、多数の事業所に大きな影響を与えている現状が商工会役員よりまさしく悲鳴として報告された。

国の緊急事態宣言下で、休業・時短営業を要請された業種以外でも、旅行社や、お土産屋等の観光関連業、また島外からの合宿生の確保が経営上欠かせない自動車学校等、人の往来に依存する業種、また地域活動の自粛による売上げの減少が著しい小売業等、影響を受ける業種は多岐にわたり、その状況は極めて深刻である。

また、それぞれ、万が一感染者が発生した場合の社会的影響に対する不安の中で日々葛藤しながら営業に取り組んでおり、先の見通せない状況にその不安は増幅している。

かかる状況下、市行政当局におかれて

は、新型コロナウイルス感染症対策関連事業の予算を組まれていることは理解している。

しかしながら、本委員会は、現在の市中経済の深刻さ並びに事業継続に係る民間事業者の切実な訴え等を勘案すると、市街地だけでなく大字を含めた地域共同体や担い手の活力が大きく減退することを憂慮し、更なる対策が必要であるとの認識で意見の一致をみたため、市行政当局に以下の要請を行った。

(9月29日要請書提出)

・当該意見交換会の内容をもとに、本委員会を取り纏めた以下の『商工会からの要望事項』について、スキーム等商工会要望事項原本に記載される個別の内容の精査だけではなく、根底にある課題を踏まえた支援の検討を行い、効果的な施策展開を図ること。

・特に、感染拡大防止と経営環境改善に係る要望への早急な検討と対応を行うこと。

『商工会からの要望事項』(一部抜粋)

1.【感染拡大防止に係る要望】

- (1) 感染防止対策支援
- (2) 感染防止に資する店舗等改修工事への補助

- (3) 事業所内及びその関係事業所で感染者が発生した場合の対応への支援
- (4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA)の普及推進

※(1)～(4)の詳細については、省略。

2.【経営環境改善に係る要望】

- (1) 支出軽減対策

秋冬の第三波の流行の恐れが専門家からも指摘されており、収入が大幅に減少する経営状態の長期化が懸念されるため、その改善のため、下記の検討を頂きたい。

- ・水道光熱費の基本料金部分の補助
- ・社会保険料の事業所負担分の補助
- ・固定資産税分の減免

3.【今後の需要喚起並びに商工会組織体制維持に係る要望】

- (1) 観光消費型プレミアム商品券発行
- (2) 空き店舗活用事業
- (3) 市の補助制度の対象者について

会員数は、令和元年度末時点で過去5年間に35件減少している。会員数が減少基調にある中で、今回のコロナ禍により廃業や退会等による更なる減少が進めば、会員率が低下し県の指導環境整備費の補助要件を満たさなくなる恐れがある。その場合は事務局長の維持も難しくなり、商工会の組織運営に大きな支障をきたすものと思われる。活力ある商工会運営のためには、会員数の維持が必須なので、商工業者補助制度の利用に関してはその対象者を商工会会員もしくは会員見込み者であることを条件とすることを検討頂きたい。

※(1)・(2)の詳細については、省略。市行政当局に提出した要請書は、写しを議会事務局で保管しています。内容等詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

一般質問

市政を問う

市民の声を
市政に

9月28日、29日の定例会において市政に対する一般質問が行われました。

《質問順と掲載ページはこちら》

- 1 川村 孝則 議員・・・P7
- 2 橋口 好文 議員・・・P7
- 3 竹下 秀樹 議員・・・P7・8
- 4 渡辺 道大 議員・・・P8
- 5 橋口 美幸 議員・・・P8
- 6 和田 香穂里 議員・・・P9
- 7 長野 広美 議員・・・P9
- 8 田添 辰郎 議員・・・P9・10
- 9 生田 直弘 議員・・・P10

※令和2年第3回定例会より、本会議のインターネットによる生中継及び録画映像の配信を行っています。

今定例会の一般質問については、録画映像を「西之表市議会YouTube」(ユーチューブ)チャンネルで公開しています。各議員の氏名の下にあるQRコードからもスマートフォン等で読み込み閲覧できます。



川村 孝則 議員



商店街の中核施設について

問 県有地や現和物産館、港からの歩道等、現況と計画を伺いたい。

答 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定通り進んでいない。整備に向けた計画を年度内に取りまとめる予定である。
(経済観光課)

問 県有地は、巡回バス、どんがタクシー、観光バス等の交通拠点としては活用しないのか。

答 そういった機能を備える事も視野に入れ、選択肢として考えていきたい。
(市長)

出産祝い金(仮称)の条例制定について

問 今回、0歳児に対する子育て応援券に係る予算について、大幅に増額して頂いたことは、評価している。しかし、制度として定着させ、安心して子育てする体制の整備が必要と考える。条例制定することはできないか。

答 この問題を制度として高めるといふことで趣旨は把握した。今後、検

討していきたい。
(福祉事務所)

馬毛島問題について

問 防衛省は、今回の調査は、施設建設を前提とした調査と明言しているが、市長の見解を問う。

答 地元の同意なしに建設が進むことはないと考ええる。首長の同意がなければ、建設は進まないと考えている。
(市長)

その他の質問

「勤労青少年ホームの改修、改築について」



橋口 好文 議員



農業振興について

問 さつまいもの基腐病について、被害の実態は把握しているか。

答 現在、2種類の調査を実施している。一つ目は、主要な地区を巡回するさつまいも生育調査において病虫害の把握をしている。9月17日時点の調査では、それぞれの圃場で発生している状況に違いはあるが、全体の約30%の圃場で発生していると見

込んでいる。これは、でんぶん用、焼酎用、加工用、青果用のさつまいもの全品目を合計した作付面積約673haにおいて、約200haの圃場に被害が発生していると見込まれる。次に二つ目の調査として、さらに正確な被害面積の把握のため、現在、さつまいも生産農家に対し、基腐病における発生状況調査をアンケート方式で実施しており、現在集計中である。今後、このデータを参考に地域別、圃場別の実態把握と次年度産対策に活用していきたいと考えている。
(農林水産課)

その他の質問

「畜産振興について」「都市公園と財産管理について」「馬毛島問題について」



竹下 秀樹 議員



新型コロナウイルス禍における経済対策について

問 市中の事業所は、新型コロナウイルス感染症の影響で、依然として売上げが減少し、幅広い業種で事業継続に苦慮している状況にある。影響の長期

化を踏まえ、第二次事業持続化支援金も検討すべきと思うが見解を問う。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により事業所の売上げ減少が長期化していることは認識している。今後、経済対策として、プレミアム付き商品券の発行も予定しているが、商品券が使われにくい業種も存在することを踏まえ、9月末が申請期限の事業持続化支援金については、申請期間の延長を含め検討していく。(経済観光課)

国道58号線一方通行化社会実験について

問 国道58号線一方通行化社会実験の概要について伺いたい。

答 道路空間を再整備し、商店街への誘客や歩行者の安全面の向上を図ることを目的として行う社会実験である。西町の西田税理士事務所から東町のクワダ種苗店前までの区間を予定している。西町から東町に向けて一方通行にし、車線を蛇行化することにより、スピードの抑制と歩行空間の確保を図る。実験期間中は全ての交差点に交通誘導員を配置するなど安全対策は徹底する。(経済観光課)

その他の質問
「各団体・組織との連携による地域力の向上について」



渡辺 道大 議員



熱中症対策について

問 熱中症対策として、厚生労働省から冷房器具購入費の支給を認める通知が出ている。本市ではそのことについてどのように捉えているか。高齢者は、体温調節機能が低下してくるため、熱中症にかかりやすいと言われている。他の自治体では、家庭に一台も冷房器具がない高齢者世帯に購入費の補助や地元事業者が設置した場合の条件をつけて、補助制度を作っている自治体もある。本市独自の補助で検討すべきではないか。

答 生活保護世帯に対して冷房器具の購入及び設置に関する費用について認定できるとの通知がされたところである。最低生活に直接必要な冷房器具の持ち合わせがなく、真にやむを得ないと認められた場合に、その費用について、他法、他施策の活用を図りつつ、その足りない部分について生活保護で補うこととしている。

答 他自治体のことも注視しながら、研

(福祉事務所)

究、検討していく。熱中症予防の広報周知活動もさらに強化していきたい。(市長)

その他の質問
「コロナ禍での子育て支援について」「学校施設の管理について」「市のスポーツ(練習場)施設の充実について」「馬毛島問題について」



橋口 美幸 議員



馬毛島問題について

問 防衛省の説明では、中国、北朝鮮の脅威をおおって、馬毛島自衛隊基地の必要性を述べている。しかし、経済的に日本と中国は強い結び付きがあり、北朝鮮の問題においても、前安倍首相は盛んに、核兵器の問題に対して平和の橋渡しをすると言っている。それにも関わらず、新たな軍事基地、軍事施設の建設を馬毛島で計画してい

る。これに対して、市長は、どのように受け止めているのか。

答 馬毛島の施設の設定は、米軍の使用を前提にしているということが確認できた。具体的な施設内容、地元の意向の反映方法など、詳細については明らかになっていない。基地の必要性や具体的な訓練の内容もまだ不明確であり、逆に不明な点が増えたという感じがしている。防衛省に対し、引き続き、疑問や市民の不安を放置したまま、なし崩し的に計画を強行するのではなく、誠実かつ丁寧な対応を求めていく。(市長)

問 日米地位協定と馬毛島問題との関連を問う。

答 基本的には、全国市長会の要望と同様である。具体的には、米軍人等による事件、事故、油及び汚水の流出、PCB等有害廃棄物の処理などの影響があり、もはや、その運用を改善するだけでは解決は望めず、同協定を見直す必要がある。馬毛島の施設を米軍に提供するということは、新たな問題で、新たな一件である。その点については、問題意識と重大な決意を持って取り組んでいきたい。(市長)

その他の質問

「教育環境充実のために」「教育現場における変形労働時間制の導入について」「市長の政治姿勢を問う」



和田 香穂里 議員



8月7日の防衛副大臣来訪時の防衛省説明と、住民説明会、環境アセスメントについて

問 疑問や不安の解消を防衛省に求める市長は、どういう立ち位置なのか。馬毛島基地化に反対か賛成かニュートラルなのか。そこが問題だと思っただうなのか。

答 FCLP以外のふさわしい使い方があるとの就任以来の考え、選挙時、軍事基地絶対反対と掲げた考えは一切変わっていない。(市長)

市長の公約、これまでの姿勢と発言について

問 「馬毛島軍事施設絶対反対」の公約は何をもって実現と考えるのか。残りわずかの任期でどのように実現するのか。

答 実現とは、端的に言って国が基地建設を断念した時、或いは、その先の馬毛島にふさわしい利活用を成し遂げた時だと考える。この任にある限り、努力を続けてまいりたい。(市長)

ヨガの聖地認定とヨガを活かした地域活性化について

問 日本初のヨガの聖地認定は画期的である。地域おこし協力隊や関係課等の尽力への称賛や認定万歳で終わらせない、継続的な取り組みへの今後の方針を問う。

答 観光振興や移住定住促進を目指し有効に活用していきたい。市民の皆様様の協力も必要。情報発信を高め、このきっかけを大事に育てていきたい。(市長)

その他の質問

「新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から、今この時に行われた防衛省の説明と、近々行われようとしている住民説明会について問う」



▲全国初 ヨガの聖地認定



長野 広美 議員



馬毛島問題について

問 市長は、住民の安全な暮らしを守る責務がある。馬毛島に米軍が来た場合、日米地位協定とそれによる社会問題等について、市長の見解を問う。

答 日米地位協定に関する認識については、基本的には、全国市長会の要望と同様である。米軍による事件、事故、PCBなど有害物質の破棄問題などの基地被害が、私たち地域住民に多大な影響を及ぼす可能性がある。抜本的見直しに向けた改定が必要であるという認識である。(市長)

問 基地がある自治体が直面している基地問題について、6月議会的一般質問において、市長は、「これは、基地に反対する方々が問題にしている。」との答弁だった。基地を抱える自治体の課題や問題点について、明確な答弁を求める。

答 そういった事例があるのは理解している。特に騒音などは、基地周辺住民の生活環境は悪化しないと住民説明会で言われ、受け入れた結果、実際

は、騒音が増加した事例も認識している。国が言うことだから問題はないという風潮、誰もが将来のことを保障できないということが問題である。基地財源による補償で世論を誘導することも危険である。結果的に国の意向に左右され、地域自ら自己決定できなくなる可能性もある。(企画課)

その他の質問

「通学路の安全確保について」「泉佐野市ふるさと納税訴訟と本市の取組について」「どんがタクシーの利便性向上について」



田添 辰郎 議員



馬毛島の自衛隊施設・FCLP訓練について

問 FCLP訓練を行う回数、日数、時間帯、訓練時の米軍人の居所はどうなっているのか。

答 年間おおむね1、2回を予定し5月、8月頃に行われることが多い。ただ、近年は8月の訓練は行われないことが多い。訓練は、1回当たり10日間程度で、日中から深夜にかけて実施されている。準備も含め、約1カ月程度

の期間が必要とのことである。なお、米軍人は、このFCLPの期間中のみ馬毛島に滞在をするとの説明であった。
(企画課)

問 防衛省の説明では、馬毛島に自衛隊基地を造るとのことである。米軍基地ではなく、米軍人も1ヵ月程度しか滞在しない。この状況で、日米地位協定上の問題が生じるのか。

答 現在の日米地位協定のままだと、米軍に国内法が適用されない場合があり、騒音被害の発生、あるいは、長期間においては拡大というような諸問題が生じる可能性がある。
(市長)

問 武器・弾薬を持たない自衛隊の配備は無駄だと思うが、どのように考えているのか。

答 防衛省が必要とする施設の問題である。私は火薬庫を使わないので、私にとっては火薬庫は要らない。(市長)

問 馬毛島のFCLP以外の利活用方法、実現可能な代替案を示していたいただきたい。

答 馬毛島の自然環境や種子島との密接なつながり、歴史を生かし、この島が教育、観光面で十分活用できると考える。
(市長)

問 馬毛島をどうして西之表市の思いどおりにできるんでしょうか。その財源の裏打ちはあるんでしょうか。

うか。
※時間切れのため、この質問に対する回答はありません。

その他の質問
「防災対策について」



生田 直弘 議員



新型コロナウイルス感染症対策と社会的変化への対応について

問 医療機関との連携や医療体制強化等を前回定例会で要望したがその進捗を問う。

答 医療機関と月1回は協議・情報交換を行う場を持ち、新型コロナウイルス感染者の救急搬送訓練を行った。また、種子島医療センターに唾液によるPCR検査体制を整え、検査結果が出るまでの時間の短縮が図られた。
(健康保健課)

問 今回のコロナ禍で起こった最も大きな社会的変化の一つであるテレワークの急速な普及に伴い都市から地方移住への関心が高まっている。

この流れを企業誘致や移住・定住に係る施策のチャンスと捉えることができる。市政当局の見解と今後の方針展開を伺う。

答 4月から8月に本市への移住定住相談及び企業からの問い合わせが増加している。この機会を捉え、オンラインによる移住相談や企業との協議を実施し、新型コロナウイルスが終息した際にはすぐに移住・定住・企業誘致に移行できる準備を進める。
(地域支援課)

答 仕事をしながら余暇を楽しむワーケーションの調査・検討をし、今年度鹿児島県と連携しモニターツアーを実施しニーズを把握する。
(経済観光課)

その他の質問
「生産者の所得向上を目指した農業振興について」

《お詫びと訂正》
8月10日発行の「議会だより123号」4頁記載の新型コロナウイルス感染症対策（6月19日時点）主な対策事業中「茶生産持続化支援事業」の事業内容「支援金給付（茶生産農家26戸939,955ha ×2万円 / ha）」「は」「支援金給付（茶生産農家26戸9,395a ×2万円 / 10a）」「1,879万円」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

お知らせ

《本会議インターネット中継及び録画映像の配信について》
令和2年第3回定例会より「西之表市議会YouTubeチャンネル」を開設し、「本会議インターネット中継及び録画映像」の配信を行っています。

録画映像については、左のQRコードからもスマートフォン等で読み取り閲覧できます。
※ケーブルTVによる議会放映につきましては、これまでどおり実施いたします。



西之表市議会
YouTube チャンネル



議 決 結 果 一 覧

議 案 名 (審 議 順)	関連 ページ	議 員 名													議決結果		
		下川和博	小倉初男	竹下秀樹	木原幸四	川村孝則	和田香穂里	河本幸男	鮫島市憲	田添辰郎	生田直弘	橋口好文	長野広美	渡辺道大		橋口美幸	永田章
報告第14号 令和元年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告について	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報 告
議案第68号 西之表市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第59号 西之表市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛12否1)
議案第60号 西之表市都市計画事業基金条例について	5	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第61号 令和2年度西之表市一般会計補正予算(第6号)	5	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第62号 令和2年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第63号 令和2年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第64号 令和2年度西之表市地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第65号 令和2年度西之表市介護保険特別会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第66号 令和2年度西之表市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第67号 令和2年度西之表市水道事業会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
認定第1号 令和元年度西之表市一般会計歳入歳出決算認定について	4	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	-	原案可決 (賛11否2)
認定第2号 令和元年度西之表市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	-	原案可決 (賛11否2)
認定第3号 令和元年度西之表市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
認定第4号 令和元年度西之表市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
認定第5号 令和元年度西之表市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	-	原案可決 (賛11否2)
認定第6号 令和元年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	-	原案可決 (賛11否2)
認定第7号 令和元年度西之表市水道事業会計決算認定について	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	-	原案可決 (賛11否2)
請願第23号 西之表市ウミガメの繁殖促進及び生息環境保全等に関する条例制定を求める請願書	2・5	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	継続審査 (賛13否0)
議案第69号 西之表市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	3	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第70号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	2	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第71号 令和2年度西之表市一般会計補正予算(第7号)	5	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛13否0)
議案第72号 令和2年度西之表市一般会計補正予算(第8号)	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)

※永田章議員は、議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

※和田香穂里議員は、議案第68号・72号以外は、欠席のため、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

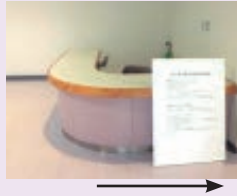
○は賛成、●は反対。

議会を傍聴してみませんか？

市議会の定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催され、次回は11月26日開会の予定です。

傍聴者受付簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴できますので、どうぞお越しください。

※総合窓口に向かって右側のエレベーター（若しくは総合窓口左の「西之表市議会」看板のある階段）で3階傍聴席へお越しください。



次回定例会会期日程予定

11月	19日	定例会召集告示
	24日	議会運営委員会
	26日	定例会開会
	30日	議案審議
12月	1・2・3日	一般質問
	4日	総務文教委員会
	7日	産業厚生委員会
	8・9日	予算特別委員会
	14日	各特別委員会
	16日	定例会閉会

議会報編集委員会

いろいろなご意見を
お聞かせください！

日々、試行錯誤しながら、皆様が読みたくなるような「議会だより」の作成や市議会ホームページでの最新情報の提供に努めております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

《ホームページの閲覧について》

議会のしくみや議会日程などが確認できますので、一度ご覧ください。

議会の情報は、市のホームページにアクセスすると左下に「西之表市議会」とありますので、そちらをクリックしてください。

もしくは、左のQRコードからもスマートフォン等で読み取り閲覧できますので、ぜひご覧ください。（議会のしくみ・議員名簿・議会议事記録・議会の日程・一般質問通告書・審議結果・会議録について掲載しています。）



西之表市議会

編集後記

学校側から「無理をしなくても」と言われても、寂しい体育大会になってしまった子どもたちのために「こんな時こそ緑門づくりの意味がある」「迷いはなかった」と種子島中学校の緑門づくりの様子が南日本新聞に掲載されました。

今回の定例会においても、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が主な内容でありました。一般会計補正予算においては、教育用情報端末の導入や商工振興に関する事業費等が計上されました。この中には12月1日発行予定のプレミアム付き商品券も含まれています。今回はプレミアム率50%で、1人3セットまでの予定であります。詳しくは紙面をご覧ください。

一般質問者は9名で、前回同様、持ち時間一人45分で行われました。

鉄砲まつりや市民体育祭各地域での伝統的な行事までもが中止や規模縮小となり寂しいですが「こんな時こそ」をみんなで共有し、乗り越えていきたいものです。

（初男）

